

♪ ぽこ あ ぽこ ♪

♪ 2019年度 *poco a poco* ♪

Nr. 13 2019年10月9日(水) 文責:プファイル・辰巳仁美

学校祭、本番間近!

~ご成功をお祈りしています!~

今週はもう、学校祭一色といった毎日ですね。各学年のステージ練習にも熱が入ってきましたし、教室発表のあるクラスでは、そちらの準備にも余念がないことでしょう。父母の会の方々も、バザーのご準備、お疲れ様です。当日のご成功を心からお祈りしています。



音楽こぼれ話 <追悼 ~ジェシー・ノーマン~>



ジェシー・ノーマンという歌手をご存知でしょうか? 20世紀末のクラシック界で、世界的に大活躍をしたドラマティック・ソプラノ歌手の一人です。つい先日、9月30日に他界されました。

ジェシー・ノーマンは1945年アメリカ合衆国ジョージア州の生まれです。ピアノを得意とするお母さんと地元の教会の聖歌隊員をつとめたお父さんという両親揃って音楽を愛好する家庭に生まれました。

地元オーガスタのハイスクールからハーワード大学、さらにミシガン大学へと進み修士号を取得しました。

歌手としてのブレイクは、1969年ドイツのミュンヘンでした。ドイツ第1テレビ(ARD)国際音楽コンクールの覇者となったのです。そして

ベルリン国立歌劇場にて、R. ワグナーの「タンホイザー」でエリザベート役を歌ったのがオペラ歌手としてのデビューとなりました。その後しばらくドイツやイタリア各地のオペラ劇場で活躍した後、1973年に帰国。リンカーン・センターで公式に母国デビューを飾り、メトロポリタン歌劇場にも出演するようになりました。

圧倒的な声量を持ち、陰影に富んだ表情と深みと張りのある声で観客を魅了し、ワグナーの楽劇だけではなく、ヴェルディやプッチーニのグランドオペラなどに数多く出演しました。

また歌曲の演奏においても、その芸術性の深さを示し、ダニエル・バレンボイム(ピアノ)とフィッシャー・ディスカウ(バリトン)との共演で、シューベルトの歌曲集を録音したり、シェーンベルクやアルバン・ベルクなどの現代歌曲を積極的に演奏したり、と意欲的に活躍しました。公的な行事や祝典に呼ばれることもしばしばあり、米国大統領の就任式、イギリス女王の記念式典、オリンピックの開会式などでも、その歌声を披露しています。クラシックだけではなく、デューク・エリントンやミシェル・ルグランとともにジャズやシャンソンの録音に取り組むなど、その活躍分野は多岐にわたりました。

舞台上で発散される気品の高さは、まさに20世紀のディーヴァ(オペラ界のプリマドンナ)と呼ばれるにふさわしいものでした。ディスカウ、パヴァロッティ、そしてノーマンと、一世を風靡した世界的な歌手がまた一人この世を去りました。心よりご冥福を祈りつつ、また新たなディーヴァの登場に期待を寄せたいと思います。

ちょっとだけ 演奏会情報

パパゲーノ劇場(パルメンガルテン内)10月・11月の演目より

音楽メルヘン「白鳥の湖」(バレエの白鳥の湖を基調とした)

- 10月20日(日)16時から、11月1日(金)16時から
- 11月2日(土)16時から、11月3日(日)16時から
- 11月17日(日)13時30分からと16時から

音楽メルヘン「雪の女王(アンデルセン)」

- 10月25日(金)、26日(土)、27日(日)いずれも16時から
- 11月8日(金)、9日(土)、15日(金)16時から
- 11月10日(日)、16日(土)13時30分からと16時から